

# 2025 タイ短期留学報告書

農芸化学科 47822058 石井理子

## 1. 当初の目的

- ・タイの農業や食生活を直接見て学ぶこと
- ・英語でコミュニケーションをとること

## 2. 目標達成のために現地で活動した内容

DAY1 2/10

羽田空港発の飛行機でバンコクに到着。そこから宿泊先の寮まで大学のバスで2時間ほど移動した。

DAY2 2/11

始めのオリエンテーションでは大学の副学長の方がカセサート大学の基本情報を見てくれた。

キャンパスツアーをした後、ウェルカムパーティに参加した。KU の学生さんが企画してくれたアクティビティやパフォーマンスを楽しんだり、タイ料理を楽しみながらお話をしたりして親睦を深められた。パーティの中で日本と農大についてのプレゼンを行った。スライドは研修前に日本で準備していった。

DAY3 2/12

寮から約2時間ほどかけてアユタヤ遺跡を行った。途中で大学の食堂と同じようなタイスタイルのフードコートに寄りポークヌードルを食べた。アユタヤ遺跡ではガイドさんが遺跡について説明しながら一緒に回ってくれた。

近くのレストランでポークヌードルや春巻きを食べ、午後は Arts of Kingdom に行った。日本語音声での説明が用意されていて、タイの伝統的手法で作られたアートについてよく理解し楽しむことが出来た。刺繡やタマムシの羽、ダイヤモンド、金が使われた装飾が印象的だった。

DAY4 2/13

農学部を訪問した。TROPICAL VEGETABLE RESEARCH CENTER では、農作物の遺伝子組み換え実験が行われていた。実験農場に加え、厳密な温度管理や湿度管理のされた種の貯蔵庫や乾燥機なども見せてもらひた。

KAMPHAENG SAEN BEEF CATTLE を見学させてもらった。100%タイの

ネイティブの牛と Brahman という品種の牛を掛け合わせ、さらにそれを Charolais と掛け合わせたのが KAMPHAENG SAEN BEEF CATTLE で、精子をとる方法や器具を実際に見せてもらった。説明内容を理解するのが難しかったが、隣に座っていた KU の学生さんが丁寧に教えてくれた。

#### DAY5 2/14

午前中、教養学部を訪問し、KU の学生さんと一緒に英語の授業を受けた。英語を使ったゲームをしたり、沢山の学生さんとコミュニケーションをとることが出来た。バレンタインデーだったので、ハートのシールやチョコレートをプレゼントしてくれた。

午後は教育学部を訪問し、タイ語の授業をしていただいた。数字の数え方や買い物をするとき、自己紹介をする際によく使うフレーズを学んだ。翌日に行ったマーケットでは、この時学んだタイ語で値段を聞くことが出来てうれしかった。

#### DAY6 2/15

マングローブ林でマンゴーの苗を植える体験をして、水上アクティビティを行った。

ボートの上からサルに餌をあげた。マングローブの水の中に入ることが出来るので、水着や着替え、シャワー用のソープなど準備をもっとしっかりしておくべきだった。

タイ料理の昼食をとった後、Sirindhorn International Environmental Park に行き、マングローブ林を探索した。

#### DAY7 2/16

ホテルの朝食ビュッフェでは、タイ料理だけでなく食パン、サラダ、コーヒーなども用意されていた。チェックアウト前にホテル隣接のビーチでゆっくりした。

昼食にレストランで食べたタイの伝統的な料理、ソムタム（パパイヤのサラダ）はさっぱりした味付けでおいしかった。ちなみに DAY8 の解散後に行ったレストランのパパイヤサラダはかなり辛い味付けだった。

午後はビックパゴダに行った。KU の方がビックパゴダの歴史や寺院内にあるブッダの像がどんな意味を持っているのかなど説明してくれた。

この日は、バスで KU の学生さんと隣の座席だったので沢山話が出来た。

2024にTUAに行ったときのことを写真を見せながら話してくれて楽しかった。

#### DAY8 2/17

大学のカフェテリアで朝食を済ませ、午前中は獣医学部を訪問した。動物病院の施設を回りながら説明を受け、実際に治療を受けているバッファローや象、牛、鷹などの動物を見て回った。

大学敷地内にある桜通りで写真を撮り、カフェテリアにて昼食をとった。

午後は、スポーツサイエンス学部を訪問した。現地の学生さんグループアクティビティをし親睦を深めた後、施設設備の紹介とエアロビクスのエクササイズを体験した。エアロビクスは予想していたよりも長時間でかなり汗をかいた。

#### DAY9 2/18

一日を通して、エンジニアリング学部の様々な学科を回った。Sugercorn の収穫用機械やココナッツの皮むきをする機械など、農業用、食品加工用の機械に一番興味をもった。他にも建物の壁や窓のテストをしている場所、バイオポリマーを扱っている研究室、イネの灌漑施設などの見学をした。自分の専門分野から少し離れていたので理解するのがとても難しかった。

#### DAY10 2/19

朝ご飯にレストランでダックを食べた。AIR ORCHIDS supermarket に行った。ここでは日本ではなかなか見ない、様々な種類の蘭の花が育てられている。苗を作製する作業の様子も見学した。タイの温かい気候が多くの種類の蘭に適していて、日本にも沢山輸出しているようだった。

タイ料理の昼食をとり、午後は Ban Suan Farm に訪れた。農場ではマルベリーを主に生産しており、そのマルベリーを使ったタルトの作り方を教えてもらった。また、農場でとれたトロピカルフルーツを沢山食べさせていただいた。マーケティングの知識を生かした“Smart Farm”であり、よく売れそうな農産物を生産したり、加工してから売る工夫をしていた。

#### DAY11 2/20

バンコクのエメラルド寺院に行った。観光客が多く、日本語のパンフレットも用意されていた。ガイドさんが一人付いてくれて、寺院を案内してくれた。バンコクは大学の Kamphang Saen よりも気温が高くて暑いので、しっかり暑さ対策をしていくことをお勧めします。

午後は Chatuchak Market 付近で各自好きなことをして過ごした。私はショッ

ピングモールでタイマッサージをしたり、タイティーを飲んだりした。カセサート大学のバンコクのキャンパスで長期留学中の開発学科の三年生が来てくれて、沢山話が出来た。日本から離れて生活していて、英語で授業を受けたり友達と話している姿に刺激を受けた。

## DAY12 2/21

午前中 Fisheries 学部に行って、ピラティアの性転換についての研究の内容や設備などを見学した。また、教科書に載せるための魚の写真の撮り方を教えてもらい、実際に写真を撮った。貴重な体験をさせてもらえて楽しかった。

午後は、12日間のプログラムの学びや思い出をスライドにまとめてプレゼンを行った。前日の夜から準備をはじめ、プレゼンの直前にも1時間ほど時間をもらい、その時間でプレゼンを完成させた。

最後にKUの学生さんと Farewell Partyに参加した。Certificate of Achievement をいただいたり、12日間のことについて学生さんたちとお話ししたりして楽しい時間を過ごせた。12日間で仲良くなったKUの学生さんたちとお別れするするのが寂しかった。

### 3. 目標達成度の自己評価

一つ目の目的、タイの農業や食生活を直接見て学ぶことについてはよく達成できたと思う。今回は農学部だけでなく様々な学部の見学をしたので、農業用機械や水産、灌漑施設の研究などにも触ることができ、農業周辺の幅広い学びが得られた。

二つ目の目的、英語でコミュニケーションをとることに関しては、まだ自分の英語力の足りなさを感じたので達成度は半分ほどだと感じている。1年半前に参加した留学の時に比べてリスニング力は少し上がったと感じるが、スピーキング力がかなり足りていなかった。

KUの学生さんたちは英語がとても上手で、私の拙い英語から意思をくみ取ろうと頑張ってくれた。ボディーランゲージなども駆使してコミュニケーションが取れた時はとてもうれしかった。英語力が高くない私でもコミュニケーションを楽しむことはできた。しかし、もっと英語力があればさらに色々なことが話せたかもしれないともどかしく感じる事が多かった。この経験が今後のさらなる英語学習のモチベーションとなった。

### 4. A.持って行って良かったもの

- ・手洗い洗濯セット(今回はランドリーの無い寮だったので洗濯はすべて手洗いでした)
- ・寮の部屋で使うスリッパ
- ・ボストンバッグ  
(一泊のショートトリップの際に1日分の荷物だけを入れる、帰りにスーツケースに入りきらないお土産を入れるのに役立ちました)

#### B.用意したがいらなかったもの

- ・タオル  
(用意がない+自分で洗濯する必要があると思い多めに持っていましたが、寮にはバスタオルとフェイスタオルが用意されており、毎日交換していただけるので自分のタオルはあまり使いませんでした。)
- ・変換プラグ

#### ※持つてい行った方が良かったもの

- ・日本のお菓子やミニギフト  
(KU の学生さんがタイのお菓子やプレゼントをくれることが多かったので、お返しに渡せるような日本のものを用意しておけばよかったです。)

#### C.現地で使用したお小遣いの金額

現金：1000 バーツ  
クレジットカード：1000 バーツ

### 5. 次年度の参加者へ、事前に準備、勉強しておくこと

全日程でKU の学生さんが同行してくれるので、沢山お話する機会があります。タイの農業や文化興味がある人はもちろん、英語で沢山話したい！という方にもピッタリのプログラムです。

文化施設の見学、観光、大学の見学、学生さんたちとの交流など、2週間で様々な体験ができます。英会話の練習をして準備をするとさらに楽しめると思います。日本の食べ物があったり、日本のアニメやアーティストが有名だったりと、日本と文化が似ている部分があると感じました。少しでも興味のある方はチャレンジしてみてください！

